

令和6年度 石狩地区の研究活動

研修部長 北広島市立大曲小学校

校長 内 海 洋

1 はじめに

石狩管内小中学校長会は、札幌市を除く石狩管内市町村の公立小中学校・義務教育学校に所属する98名の会員で組織されている。

今年度の4月に行った総会において、これまでの研究活動の成果と課題を踏まえて、3か年研究計画の2年次目として研究活動をスタートさせた。

3か年計画の2年目である今年度は、第2協議題を「活力ある学校組織をつくり、時代の要請に応える学校経営の確立」と設定し、組織運営の在り方や地域・学校種間の連携を生かした組織マネジメントをいかに進めていくか協議し、研究活動を進めてきた。



秋季学校経営研究会(11月7日)開会式の様子

2 研究計画

(1) 研究の方針

- 全国・全道校長会の研究内容との関連を重視する。
- 北海道教育長期総合計画、石狩管内教育推進の重点との関連を図る。
- 石狩管内の学校教育の現状に基づき、その充実・発展を図る。

(2) 研究主題（令和5年度策定 3か年計画）

「自ら未来を創造し切り拓く 石狩の子どもを育てる 学校教育の推進」

～持続可能な社会をつくる子どもに、必要な資質・能力を育成する学校経営の在り方～

(3) 協議題・課題（令和5・7年度は協議題のみ記載）

○第1協議題 令和5年度「新たな時代に必要な資質能力を育成し、生きる力を育む学校経営の確立」

○第2協議題 令和6年度「活力ある学校組織をつくり、時代の要請に応える学校経営の確立」

課題① 学校経営方針の確立と力強く推進する組織運営の在り方

〈視点ア〉子どもたちの未来を見据えた学校経営方針の策定と共有

〈視点イ〉学校経営方針を実現に導く組織運営

課題② 地域や学校種間の連携を生かした学校経営の在り方

〈視点ア〉地域力を生かした「社会に開かれた教育課程」の推進

〈視点イ〉家庭・地域・異校種との連携と義務教育9年間を見通した取組

○第3協議題 令和7年度「改善を続ける組織をつくり、社会の負託に応える学校経営の確立」

(4) 研究推進と事業計画

- 市町村研修部長会議の開催（管内研究の確認及び進行管理、各市町村校長会研究内容の交流）
- 道小・道中との連携（研究大会参加体制の確立、諸調査への対応）
- 管内教育関係機関・団体との連携（研究等における指導・助言依頼及び調整）

3 研究活動の概要

(1) 春季学校経営研究会

○期日 令和6年4月11日(木) ○場所 北広島市(芸術文化ホール・石狩教育研修センター)

○研究計画説明及び質疑応答

○研究協議 3分科会(小学校2、中学校1)

・佐藤倫夫(江別:いずみ野小)、山谷 潤(千歳:緑小)、吉村公孝(当別:とうべつ学園)が提言

(2) 秋季学校経営研究会

○期日 令和6年11月7日(木) ○場所 北広島市(芸術文化ホール・石狩教育研修センター)

○道小・道中・全連小・全日中研究大会の参加報告

○講話 北海道教育庁石狩教育局長 田中賢一様 ○講話題「これからの最高経営責任者の在り方」

○研究協議 3分科会(小学校2、中学校1)

・日下部匡彦(石狩:紅南小)、久々江貴志(千歳:向陽台小)、岡田一之(江別:江別第三中)が提言

(3) 第67回北海道小学校長会教育研究 空知・岩見沢大会への参加

○期日 令和6年9月13日(金)～14日(土)

○参加者 32名(道小:理事・幹事含む)

(4) 第65回北海道中学校長会研究大会 十勝・帯広大会への参加

○期日 令和6年9月27日(金)～28日(土)

○参加者 23名(道中:理事・幹事含む)

(5) 第75回全日中研究協議会 岩手大会への参加

○期日 令和6年10月17日(木)～18日(金)

○参加 4名

(6) 第76回全連小研究協議会 徳島大会への参加

○期日 令和6年10月24日(木)～25日(金)

○参加 7名(提言者含む)

○第3分科会において、内海 洋(北広島市:大曲小)が提言発表を行った。

(7) ブロック別校長研修会の開催

○Aブロック校長研修会(千歳、恵庭、北広島) 9月9日(月) 千歳市総合福祉センター

・研究協議提言 真野智美(恵庭:松恵小)、野口俊之(北広島:広葉中)

○Bブロック校長研修会(江別、石狩、当別、新篠津) 9月10日(火) 江別市野幌公民館

・研究協議提言 重山麻人(石狩:石狩八幡小)、森 聡(当別:西当別中)

(8) 研究集録第40集の発行(令和7年2月発行)

○令和6年度(3か年計画/令和5年度～令和7年度研究計画)の研究内容のまとめ。

4 おわりに

今年度は、3か年研究の2年目として、計画していた各種研究活動を充実した協議内容の下、予定通り実施することができた。子どもたちの「生きる力」を育むため、活力ある学校組織をつくり、時代の要請に応える学校経営の在り方について、石狩管内、全道、全国の仲間との協議・対話を通して、私たちの研究活動について再確認できたことは大きな成果であったと考える。

また、全連小徳島大会における石狩地区(道小)としての提言も貴重な機会となった。研究協議では、他都府県会員の皆様から温かい賛辞とともに各学校の示唆に富んだ取組について学ぶことができ、今後の管内研究の進化につなげていきたい。